

80 歳以上の部 看護・保健部門

受賞者： かわむら さわこ 川村 佐和子 (82 歳)

聖隷クリストファー大学 看護学部 教授



川村氏は 1970 年代から、わが国における難病看護および在宅看護の先駆者として長年にわたり、研究と実践の双方から医療・看護・福祉分野をリードしてきた。未知の領域だった「難病看護」を確立し、「在宅看護学会」を創設。また、厚生労働省はじめ行政での各種審議会や検討会等での法整備等に尽力してきた。

東京大学医学部保健学科疫学教室技官・研究生に就任中、スモンに関心を持ち、1969 年に全国スモンの会を立ち上げ、副会長・事務局長を務め、この疾患の医学的、社会学的、福祉学的研究を推進した。1970 年には、全国難病患者団体連絡会を組織し、実施した調査から医療助成制度と難病の治療看護研究が生まれた。

川村氏は、訪問看護師や看護師長、研究所研究員として多職種によって構成された在宅診療班を結成し、日本で初めての訪問診療活動の実現にも尽力した。また、ALS など難病患者会の皆様とともに、療養や在宅支援などの新しい支援制度を切り拓く社会活動にも従事。1991 年以降は看護教育に転身し、在宅ケア、在宅看護の視点から実践者の育成に取り組み、実績をあげている。

推薦者： 福井 トシ子 公益社団法人日本看護協会 会長
近藤 潤子 学校法人天使学園 理事長
真田 弘美 公益社団法人日本看護科学学会 理事長
嶋守 恵之 一般社団法人日本 ALS 協会 会長
清水 嘉与子 元参議院議員
清水 準一 一般社団法人日本在宅看護学会 理事
藤本 栄子 聖隷クリストファー大学 学部長
本田 彰子 一般社団法人日本難病看護学会 代表理事
水澤 英洋 国立研究開発法人国立精神・神経センター 理事長
山崎 摩耶 元衆議院議員